

エッピー・モリー

- 1 二十四人のハイランド人が
キャリー方面からやってきた
結婚を拒んだ
エッピー・モリーをさらうため
- 2 娘の母が外へ出てきた
月の輝く夜のこと
娘の姿も見えないほどに
やつらの剣がきらきらと光った
- 3 「私から離れて 母さん
私から離れて
ストラスドンの男となど
結婚したりしないわ」
- 4 やつらはエッピー・モリーをさらい
馬の背に縛りつけ
全速力で駆けていき
司祭のところへと連れ去った
- 5 男が銃を取り出して
司祭の胸に突きつけた
「結婚させろ さもないと
俺がお前の司祭になってやる」
- 6 「私から離れて 司祭様
私から離れて
ストラスドンの男となど
結婚したりしないわ」
- 7 「私から離れなさい ウイリー
私から離れなさい
お前を結婚させることはできぬ
娘が同意しないならば」
- 8 やつらはエッピー・モリーをさらい
ほかに手は無いと
全速力で駆けていき
キャリー方面へ連れ去った
- 9 ミサが歌われ 鐘が鳴ると
みんなベッドへ向かった
エッピー・モリーはウィリーと
一つベッドの上に寝かされた
- 10 「私から離れて ウイリー

私から離れて
私が処女を失う前に
あんたと私で力試しよ」

11 娘は頭から帽子を取ると
それを床の上に投げ
「私が処女を失う前に
朝まであんたと格闘してやる」

12 次の日の朝早く
娘が服を着る前に
ガウンとシャツだけ身に着けて
スカレターの娘がやってきた

13 「起きて 起きて 若奥様
ワインでも一緒に飲みましょう」
「私を乙女と呼んでちょうだい
あなたと同じ処女なんだから」

14 「まったく残念だったわね ウイリー
いっぱしの男を証明するため
娘の処女も奪えないなんて
あの娘はあんたの手を借りたかったかもよ」

15 「私から離れて スカレターの娘さん
私から離れて
ストラスドンの男となど
結婚したりしないわ」

16 ベルボードレインのジョン・フォーサイスが
銃を持ってやってきた
「さあ帰ろう エッピ―・モリー
そして僕の花嫁になってくれ」

17 「馬を一頭連れてきて ウイリー
男らしくしたらどうなの
私を母さんのもとへ返して
来たときの通り処女としてよ

18 「西の丘の上に太陽が輝いて
月がかすかに光っているわ
あなたの馬に鞍をつけて ジョン・フォーサイス
口笛を吹いたらすぐ行くわ」